２０１７年度関西学生バスケットボールリーグ戦

男子　　１部リーグ戦

試合日	2017.09.13
開始時間	18:30
会場	大阪体育大学
コート	B コート
試合ＮＯ	130

勝チーム			敗チーム
大阪体育大学	94	28 - 7 17 - 21 22 - 19 27 - 14	61	流通科学大学
勝ち点3			勝ち点2

戦評

【総括】
現在1部リーグ戦において、勝ち負けを交互に繰り返し、波に乗り切れない流通科学大学。そして、こちらもどうも波に乗り切れず勝ち点2に留まってしまっている大阪体育大学。ここから3日間ホーム戦となるため、ここらで流れを汲みとりたいところである。お互いに勝ち点2ということもあり、両者譲れぬ一戦、どちらに軍配が上がるのか。1次リーグの終盤が近づくにつれ、徐々に露わになってきているチームの特徴。これからの戦いは情報戦がより重要な要素になりうるだろう。流通大#23龍はこの数試合コンスタントに得点を重ねており、チームの得点源として大きな存在となっている。爆発力を秘めている#6清水、#9諏訪も注意したい選手である。それに対し、大体大はリバウンドランキング4位5位と並んで獲得している#9内藤、#13伴の2人の選手がゴール下を守っている。今年から加入した新戦力である#30藤本もここまで目覚ましい活躍をみせているため期待したい。前半後半共に、大体大が流科大を圧倒する形となった。流科大は#9内藤を抑えることが出来ず、次々に得点を許してしまった。難しいシュートが良く見られ、大体大の堅いディフェンスを最後まで攻略することが出来ず、課題が多く残る試合となった。大体大は、声援を味方につけ、心強い環境でプレイができ見事に勝利を収めた。勢いづけれる良い試合となった。

【第1ピリオド】
大体大#9内藤の2Pシュートで幕を開けた。その後、流通大が得点を返すものの#9内藤のバスケットカウント2連続で流れを勝ち取り、#7山田の3Pシュートで追い打ちをかける。残り5分の状態で2-15となり、流科大たまらずタイムアウトを取る。流科大は果敢に選手交代を行い、突破口を見出そうとするが大体大の勢いを止める事が出来ない。大体大#18池田のミドルシュートも決まり、更に点差を広げていく。それに負けじと流科大#23龍の3Pシュートが決まるが、その後が続かず大体大のディフェンスから7点しか獲得できず、7-28で第1ピリオドを終えた。

【第2ピリオド】
第2ピリオドも流れは変わらずに、大体大の中外中とバランスの良いオフェンスで連続得点が続く。#23龍がドライブからのレイアップシュートを決めるが、その次の大体大の#4草川がミドルシュートを決める。そして、これ以上の連鎖を食い止めるべく流科大の前半2回目のタイムアウトが取られる。タイムアウト明けに#6清水の2Pシュートが決まる。流科大は打開策としてゾーンディフェンスに変更する。点差が変わらない状況が続く中、大体大の速攻が決まり始める。#30藤本を起点とした速攻オフェンスで#22都築、#7山田が決めて勢いが衰えない大体大。それに対し流科大は粘り強いプレイが垣間見え、何とか得点をあげる。苦しい時間が続くが、ラストプレイには、#8松浦のパスが#2垣崎へ届きブザービートを獲得した。スコアは、28-45で前半を折り返す。

【第3ピリオド】
序盤は大体大のオフェンスリバウンドからのセカンドチャンスをしっかり獲得する場面が良く見られる展開となる。そんな中、流科大は#12七田、#22辻、#23龍の3Pシュートが決まり、着々と流れが流科大に傾き始める。得点が止まり始めた大体大に対し、得点が止まらない流科大。更には第3ピリオド2本目となる#23龍の3Pシュートが決まる。この悪い流れを打ち切るかのような大体大#30藤本のバスケットカウントが決まり、ここからしばらく、点差が10点付近をさまよう展開となる。大体大のオフェンスに対しファウルが重なってしまい、フリースローを数多く与えてしまう流科大。じわじわと広がり始める点差。ここから大体大のオフェンスが爆発する。#9内藤の3Pシュートに続き、#30藤本の本日2度目となるバスケットカウントが炸裂し点差を大きく広げる。47-67と大体大が20点の差を広げ第3ピリオド終了。

【第4ピリオド】
第3ピリオドの流れがそのまま引き続き、大体大がさらに点差を広げ続ける。流科大は単発なシュートが増えてしまい、得点を重ねることが出来ない。流科大がタイムアウトを取り、巻き返しを計る。流科大#6清水の3Pシュートが決まり、反撃の体制を整えようとするが、大体大の#24野内のハッスルプレイと2Pシュートによってチームを盛り上げる。#6清水#9諏訪の連続得点で流れを引き戻したい流科大だったが、大体大のオフェンスを抑えることが出来ず点差は変わらない。追いつきたい流科大はディフェンスが前のめりになっていく。そこを大体大が的確に突く形で時間が過ぎていく。中盤終盤と大体大がリバウンドを制覇する形となり、点差が広がり続ける。流科大は点が中々決まらず、厳しい状況が続く。第4ピリオド終盤、大体大は主要メンバーを温存する形で試合を終える。最終スコアは61-94で大体大の勝利。

主審	大野　哲広	副審	幡丸　登志久	戦評	中村　泰斗(関西学連)
		記録	関西学生バスケットボール連盟		

大阪体育大学

No.	S	選手名	PTS	３Ｐ 成功	３Ｐ 試投	２Ｐ 成功	２Ｐ 試投	ＦＴ 成功	ＦＴ 試投	F	REBOUND OR	REBOUND DR	REBOUND TOT	TO	AS	ST	BS	MIN
4	*	草川 涼輔	6	0	0	3	3	0	0	4	0	4	4	0	3	0	0	22
5		野原 悠平	2	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3
7	*	山田 友哉	24	2	6	6	13	6	7	3	0	5	5	1	1	0	0	32
9	*	内藤 健太	26	1	2	7	16	9	14	2	5	12	17	1	3	0	0	35
13	*	伴 駿毅	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	3
18		池田 楓	8	0	0	4	7	0	0	1	0	4	4	2	2	0	0	31
19	*	生越 陸也	2	0	0	1	2	0	0	2	2	3	5	0	0	0	0	16
22		都築 祐斗	12	0	0	6	6	0	4	2	5	7	12	0	0	0	0	22
24		野内 育士	3	0	0	1	4	1	2	1	3	6	9	2	1	0	0	7
25		高橋 圭	1	0	0	0	0	1	2	0	0	1	1	0	1	0	0	2
30		藤本 巧太	10	0	0	3	6	4	4	1	0	4	4	4	4	0	0	27
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:		比嘉 靖								0	0	2	2	0				
合計			94	3	9	32	59	21	35	16	16	47	63	10	15	0	0	200
			RATE	33.3%		54.2%		60.0%										

流通科学大学

No.	S	選手名	PTS	３Ｐ 成功	３Ｐ 試投	２Ｐ 成功	２Ｐ 試投	ＦＴ 成功	ＦＴ 試投	F	REBOUND OR	REBOUND DR	REBOUND TOT	TO	AS	ST	BS	MIN
2		垣崎 真吾	2	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	13
6	*	清水 雄太	9	1	5	3	4	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	16
8		松浦 慎哉	2	0	5	1	5	0	0	2	1	0	1	1	1	0	0	16
9		諏訪 裕亮	3	0	4	1	3	1	1	4	0	1	1	0	1	0	0	17
12		七田 恭輔	5	1	5	1	3	0	0	1	1	1	2	1	1	1	0	10
14		松屋 佑季	0	0	2	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	8
15		竹本 悠亮	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3
22	*	辻 直弥	9	1	3	1	2	4	5	4	1	0	1	0	1	0	0	22
23	*	龍 李弥	17	3	8	3	11	2	3	3	3	7	10	0	2	0	0	29
32	*	高田 竜豪	7	1	4	1	5	2	2	3	0	4	4	1	0	0	0	28
35		大庭 椋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
54		山本 修太	0	0	2	0	0	0	0	1	2	0	2	0	0	1	0	6
55	*	渡辺 航	5	0	1	2	3	1	2	3	1	2	3	0	1	0	0	22
99		井上 大輝	2	0	0	1	5	0	0	1	2	2	4	0	0	0	1	5
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:		伊藤 淳	-							0	2	1	3	0				
合計			61	7	40	15	48	10	13	25	12	18	30	3	8	4	1	200
			RATE	17.5%		31.3%		76.9%										